

9月1日は防災の日 大地震発生！ そのとき問われる地域の結束

区や消防署、警察署などの行政機関は、大きな災害が起こったとき、皆さんの命と財産を守る使命を担っています。しかし、直ちに区内全域での救助活動を始めるとは困難です。また、倒壊した家屋からの人命救助に当たっては、72時間を超えると、生存率が20～30%に急激に下がるといわれています。

より多くの命を守るためにも災害発生直後から3日間は、消火や救助活動など、地域での助け合いが欠かせません。

【担当課】 防災課 ☎5654-8224

葛飾区 首都直下地震被害想定

(平成24年4月東京都発表)

震源 東京湾北部
(マグニチュード7.3)

震度 6強
(時期・時間 冬の夕方午後6時)

【人的被害】

- ▶ 死者/500人
- ▶ 負傷者/5,515人
- ▶ 避難生活者/130,630人

【建物被害】

- ▶ 揺れによるもの/7,230棟
- ▶ 液状化によるもの/216棟
- ▶ 津波によるもの/被害なし
- ▶ 焼失によるもの/11,114棟

全壊

毛布担架訓練



柴又地区

安否確認訓練



町を守る地域の取り組み

西水元地区



炊き出し訓練

いざというとき、大切な人や町を守るためにも、地域の訓練に参加しましょう！
防災組織への加入などに関するお問い合わせは防災課まで。

▼息の合った動きでホースを取り出す (四つ木五丁目町会)



ピックアップ

市民消火隊

災害時に消防ポンプを使用して消火活動や救助活動を行う地域の防災リーダーとして、区内では現在32の市民消火隊が主に水戸街道や環七沿いを中心に活動しています。

市民消火隊操法大会

市民消火隊の日頃の訓練の成果をご覧ください！

【日時】 9月28日(日) 午前9時～

【場所】 葛飾清掃工場
(水元1-20-1)

消火訓練の様子 (西青戸町会)



青戸地区

避難訓練

四つ木五丁目町会市民消火隊

日頃から消防ポンプの操法訓練や資器材の点検を行う他、上級救命講習を受けて資格を取得するなど、隊員は救護活動も行える技能を身に付け、いざというとき、地域住民の先頭に立って救助活動が行えるよう、訓練に励んでいます！

四つ木五丁目町会では、高齢化により隊員も町会役員も不足していて、多くの隊員が町会の運営と掛け持ちで活動しているのが現状です。消火隊の機能が失われないよう、ぜひ多くの方に入隊してほしいです。

かわかみ はるお
(川上晴男隊長)

西青戸町会市民消火隊

地域の消防団と合同で訓練を実施し、消火技術を高めています。常に災害の発生を想定して、少ない人数でも消火活動が行えるよう訓練しています。訓練後は反省会を行うなど、隊員同士の団結力はもちろん、訓練中の差し入れや、操法大会での応援など、町会からの協力もあります。

地震が起こったとき、消防車が来られず、行政からの指示も届かないときには、市民消火隊が行動を起こします。

自分たちの町を守ろうという正義感を持った方、入隊を待っています！

やまだ ゆきお
(山田幸雄隊長)